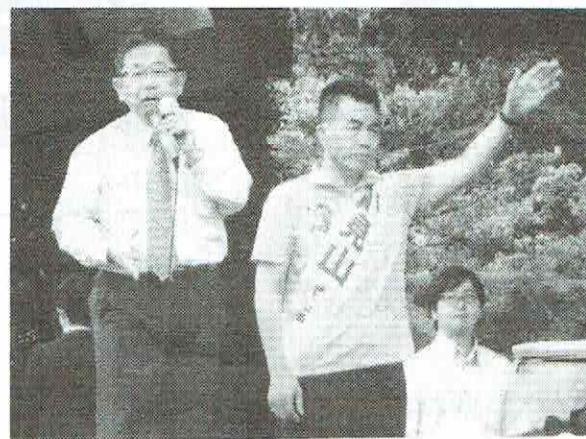




# 日本共産党 改選3から6議席へ倍増

野党統一候補は全国で11議席獲得



小見山候補と一緒に訴える小池党書記局長  
7月2日大垣駅前にて

選挙をたたかえたことは、今後につながる大きな財産となります。  
くらしと憲法まもる運動さらに  
改憲勢力が3分の2を獲得し、今後は憲法を変える動きがでてくるものと予想されます。日本共産党は、平和や基本的人権を守るたたかいとともに国民のくらしをまもる運動をさらにすすめていく決意です。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

2016年7月

日本共産党 関ヶ原支部  
関ヶ原町議 田中ゆき子

## 関ヶ原町の選挙結果

### 選挙区

小見山よしはる氏	1,671票
渡辺猛之氏	2,690票
加納有輝彦氏	137票

### 比例代表

日本共産党	524票
-------	------

## 今夜の一品

きゅうりのキュウちゃん

### 材料

きゅうり 一キログラム  
糸昆布 一袋 (30~50グラム)  
生姜千切り

### 調味料

醤油 みりん 醋 各1カップ

お湯を沸騰させて火を止めきゅうりを丸ごと入れる。そのまま5時間くらいおく。  
調味料は沸騰させて冷ましておく。  
きゅうりを取り出し3~4ミリ厚さの輪切りにする。調味料の中に昆布、生姜、きゅうりを入れて一晩おく。冷蔵庫に保存する。

# 民主関ケ原

第357号

2016年  
8月7日  
(日曜日)

発行  
日本共産党  
関ヶ原支部  
☎ 43-2009

**生活相談は「ちらべ**

田中ゆき子	TEL 43-0960
そめや君子	f a x 51-28002
	Tel・FAX 43-2009

## 1人区 野党共闘の効果

2013  
2勝

2016  
11勝

■野党が当選  
自民が当選

赤旗日曜版  
20160717

3年前の参院選は、“29勝2敗”と自民党が大きく勝ち越した1人区。今回も野党統一候補が11選挙区で勝利を勝ち取りました。

# 野党統一“予想以上の力”

## 6月定例町議会報告

安心して子育てと  
仕事をしたい

6月定例町議会が6月9日から21日までの会期で開かれ、歳入歳出それぞれ4978万5千円を追加する平成28年度一般会計補正予算案等11議案が可決されました。



### お母さんたちの願い実現へ

留守家庭児童教室は、昼間保護者がいない家庭の児童を預かる事業です。対象が3年生まで、夏休みの朝の時間が遅いなど子育てしながら働くお母さんたちの心配はつきませんでした。

他市町が拡充するなかで、遅ればせながら関ヶ原町も拡充に動き出しました。早朝預かりや夏休みのみの受け入れも実現に頑張りたいと思います。(田中ゆき子)



留守家庭児童教室を行っている幼稚園

6月21日一般質問が行われました。田中議員の一般質問と答弁の要旨をお知らせします。

**早朝預かり、夏休みのみの受け入れも検討を進める**

**留守家庭児童教室 6年生まで対象拡充へ**

**田中ゆき子議員の一般質問より**

関ヶ原病院の院長が交替され、病院の経営改革として、いくつかのパターンの改革案が提示されました。現在、病院内部、議会、病院運営審議会等で議論がされています。そのなかで、障がい児の放課後デイサービス「はびりす」・発達障害のリハビリなどの継続問題が急浮上しています。

関ヶ原病院問題を訴えています。障がい児の保護者が健一氏と「はびりす」を考える会(代表、染矢)が、7月2日、町長に会い、リハビリを利用されている保護者の方が、7月2日、町長に会い、「はびりす」が町内外の障

害児や支援学校から高い評価を受けていることなどを紹介し、関ヶ原病院として継続をしてほしいと要望しました。

入院施設は大事



みごとなスイレン一つづら池から

田中議員は留守家庭児童教室の内容が、他市町と比較して関ヶ原町が遅れている実態をのべ、少子化の現状の中、一刻も早く安心して働ける環境整備の必要性を強く訴えました。

町長は、「現在3年生までの対象を引き延長等についても検討をしたい」と前向きの答弁をしました。

ふれあい図書館の窓際にカウンターを設置する提案をしました。町長は見直しをしたいと答弁しました。

**関ヶ原病院問題を考える会が要望ー7月27日**

要不可欠であるこ

とから、現状の規模

を維持して努力を

してほしいと要望しました。

- <一般会計補正予算の主な内容>
- ・グリーンフィールド自治会の集会所建設補助 1,180万円  
(財源は宝くじ助成金)
  - ・老人福祉センターのあり方検討委員会謝礼 8万1千円
  - ・ゲディスバーグ姉妹都市提携の調印式関連旅費(事前調整1名、調印式2名) 150万円
  - ・ゲディスバーグ関連の通訳 150万円
  - ・徳川家康最初陣跡整備設計 300万円
  - ・ビジターセンター建設予定地の埋設物調査 200万円
  - ・関ヶ原古戦場眺望に関する基礎調査 500万円  
(グランドデザイン関連の財源内訳  
: 県 1046万6千円、町 270万円)
  - ・その他

# 民主関ケ原

連絡先

日本共産党関ケ原支部

電話 43-2009  
2016.8.24

生活相談はこちらへ

田中ゆき子 Tel 43-0960  
f ax 51-2802  
そめや君子 Tel·FAX 43-2009

関ケ原病院「有床診療所」にしたいー町長が方針表明

(8月8日議会  
特別委員会)

## 88床から19床に縮小の考え方表明



8月8日議会の病院改革特別委員会が開かれ、関ケ原病院を来年度から「有床診療所」にする方針を町長が表明しました。現在の88床を19床に縮小する考えです。病院経営については議論を重ねてきましたが、今年5月以来

に診療所化も検討のなかに含まれ、早期の改革を理由に3か月もたたない間に大転換する方針がだされました。

田中議員は、「有床診療所は診療報酬が低いため経営が難しい。経営難で全国的にも数が減ってきていた。これから高齢者が

増え、まさに病院の必要性が増してくる。公立病院としての存在意義をとらえ、現状の8床を維持してがんばるべき」と主張しました。

診療所にせず

88床の維持を

—田中議員が主張

1昨年、党支部が行った町民アンケートで、町に住みたい理由に「身近に病院がある」と回答が多くありました。まちづくりにとっても関ケ原病院の存在は非常に大事です。

### 有床診療所とは

入院ベッド19床以下の医療施設。地域にある医院など入院施設がない病院は無床診療所にあたる。

### 病院と比べて診療報酬が大幅減

病院に対して診療報酬が低い。1床あたりの入院基本料(平成28年度)は病院で1,332点(看護師配置10対1)に対し有床診療所は14日まで861点、15~30日まで669点、31日以降は567点と大幅に低くなる。

### 30日以上入院できるのか?

入院基本料が大幅に減ると、病院の収入が減るため、30日を超えての入院は経営を圧迫する。引き続き入院できるのか?

### 関ケ原病院の経営問題に関するこの間の経緯

- 平成20年 公立病院の経営効率化を目的に改革プラン策定が義務化
- H20年 小児科休診
- H21年 一般病床 144→99 療養病床 35→49
- H21年 泌尿器科休診
- H23年 小児発達外来、小児リハビリ始める
- H24年 一般病床 99→38(19は休床) 障害者病床 42 療養病床 49
- H27年 許可病床数 149→129
- H26年 12月~27年3月 「関ケ原町の地域医療を考える委員会」が民間に経営をゆだねる「指定管理者制度」導入を提言
- 5月 指定管理者候補と交渉始める
  - 6月 議会病院改革特別委員会設置
  - 7月 障害児デイサービス「はびりす」開始
  - 11月 指定管理は断念
  - 12月 歯科休診(翌年3月廃止)
- H28年 4月 看護師退職により療養病床49床閉鎖  
許可病床数 129→88床(障害者病床50、医療包括ケア病床38)
- 4月 院長交代 島崎新院長就任
  - 5月 院長、診療所化も含む4パターン提示(議会全協)
  - 6月 6パターン提示、シミュレーション(議会全協)
  - 7月 「はびりす」、小児発達リハ終了方針(議会全協)
- 8月8日 議会特別委員会で「有床診療所」化を表明
- 8月28日 町民説明会

## 8月28日、町主催の町民説明会が開かれます

私たちの病院がどうなるのか、病気になった時みてもらえるのか、みなさんぜひ、参加しましょう。

8月28日(日)午前9時~ 関ケ原ふれあいセンター

# 公立病院の半数以上が赤字 背景に国の医療政策

区分	上段が病院数、下段が割合	
	平成25年度	平成24年度
経常収支が黒字の病院	352	389
	46.1%	50.8%
経常収支が赤字の病院	411	377
	53.9%	49.2%
合計	763	766
	100%	100%

総務省HP：経常収支の状況より



平成25年度、全国の公立病院収支は左の表の通り半数以上が赤字になっています。

安倍政権による医療・介護一体改革でさらに経営厳しく

なります。関ヶ原病院もこの中に入っています。赤字の原因の一つに新研修医制度による地方の医師不足があります。

また小泉政権時代には「聖域なき構造改革」によって、公立病院の経営効率化の名のもとに赤字の病院は統廃合や診療所化、民営化をせまられる事態に陥りました。

さらに2025年には団塊の世代が高齢化のピークになるという理由で、社会保障の削減計画が進行しています。

私は毎年行われている関ヶ原町の住民健診をうけています。

2013年のPSA（前立腺がん検査キット）の値が5くらいに上がり、その結果を診断してもらいました。そうしたら「前立腺がんの疑いがあるのできちんと精密検査をしてもらいたいなさい」という事でした。前立腺関係の専門医が見えるクリニックで色々調べてもらいました。

そうしたらやはり前立腺がんでした。クリニックでは前立腺がんの転移がないか調べた方がいいという事で、関ヶ原病院でCTレントゲンを受けました。そうしたらすい臓がんが見つかりました。

関ヶ原病院では岐阜大学からすい臓がんの手術が出来る外科の先生が週に1度来てみえていて、その先生に結果を見てもらいました。結果はそうとう進んでいるすい臓がんでした。

家族で色々相談をして、岐阜大学で手術が出来るよう手続きをしてもらいました。その年の11月に手術前の治療をしてもらい、2014年の1月に手術をしました。その手術で現在は私の体には3分の1のすい臓しか残っていません。

私のすい臓がんの発見とその後の治療から  
関ヶ原病院問題を考える会 染矢健一

血液検査を受けています。岐阜大学より派遣の外科の先生にがんの再発や転移がないか見もらっています。またすい臓が3分1になり、すい臓の機能が低下しているため、糖尿病の栄養指導、生活指導などを内科で月に1度受けています。このように関ヶ原病院は私にとつて延命して頂いた、命の恩人です。

その関ヶ原病院が診療所になり、毎年行っている住民検診が毎年できるのか、住民健診の結果が早く分かるのか、そして関ヶ原病院が対策を取つてもらえるのか気がかりです。更には手術を受けた後の再発防止や対策、薬の提供など本当に心配です。

誰も自分の命があとどれだけあるのかわかりません。私の命もあとどれだけかわかりません。だからこそある命を少しでも長らえるために自分ができる、運動や食事などなるべく気をつけています。そして最後はやはり医学の力を頼りにします。身近に町の病院がある、大学病院などで手術を受けた後しっかりとサポートしてもらえる病院がある、その事がとても安心なのです。